

企業財務IT

シンフォニース 金融機関の経営比較 分析サービスで手軽に

シンフォニースが提供する、金融機関の経営比較分析サービスが注目されている。金融機関が人手や手間をかけずに、シナリオ・四国上は比較対象を入力すれば、分析結果がグラフやチャートで分かりやすく表示され、経営戦略にも反映しやすいからだ。同社は今夏までに10行からの受注を目指す。

経営戦略にも反映

シンフォニースは新・リスク管理に関する。同氏は前職時代に、日銀ソリューションズソリューションを長年「金融力」は平均値で地盤銀行などの収益、手がけた藤田孝氏が創「金融力」は平均値で地盤銀行などの収益、手がけた藤田孝氏が創

不可欠と強調する。そこで、開発したのが経営比較分析ソフトの「プランナ」。地域銀行の主要な信用金融など約200機関が公表する財務データ過去5年間分をデータベース化し、半期ごとに更新する。同社側や同業のビジネスモデルのほ

か特定銀行の好みの比較対象を選択すれば、分析結果がグラフやチャートにあり、手元のタブレットに開くことができる。

「多面的に実力を測ることができ、強みや弱みを理解するための経営戦略に役立てやすい。さらに単純でデータを収集し、メンテナンスをしながら分析し、よくすると「専任者が3人必要になる」(四国地区支店)との指摘があるだけに、人

手や手間を軽減できる利点もある。同社は分析結果を経営戦略と併せ込むのに活用する金融機関から相手があれば柔軟に対応していく方針。